

教職員自己紹介

内林 俊洋（うちばやし としひろ） 助手

1983 年生まれ、福岡県筑紫野市出身。2002 年九州産業大学情報科学部入学（第 1 期生）、2006 年同学部社会情報システム学科卒業。2008 年九州産業大学大学院情報科学研究科博士前期課程修了。九州産業大学大学院情報科学研究科博士後期課程を経て助手に就任。



セマンティックグリッド上におけるサブオントロジーテラリングメソッドの高速化と正確性の向上について研究しています。講義では主にほかの先生方の補助として皆さんと会うことになると思いますが、情報科学部棟の 3 階で毎週実施している情報科学部学習支援室も担当しています。講義中に理解できなかった内容や時間が足りなくて解けなかった課題など学習の支援をしますので気軽に来室して下さい。

情報科学部の第 1 期の卒業生であり、初期赴任の先生方の次に長く情報科学部に在籍しているという利点を生かしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

神屋 郁子（かみや ゆうこ） 助手

<略歴>

1984 年福岡県出身。2002 年九州産業大学情報科学部入学、2006 年同学部社会情報システム学科卒業。2008 年九州産業大学大学院情報科学研究科情報科学専攻博士前期課程修了。2011 年九州産業大学情報科学研究科情報科学専攻博士後期課程修了。博士（情報科学）取得。



<研究内容>

広域負荷分散について研究をしています。コンテンツ配信において、アクセス数が増えればそれだけサーバが必要になります。複数のサーバを 1 箇所に集中して配置すると経路がボトルネックになりうるため、広域に分散配置する必要があります。また、アクセス数は時々刻々と変化するため、動的に広域分散配置する必要があります。これを解決するために、仮想計算機技術を利用しています。

<担当科目>

プログラミング系の科目を中心に担当しています。今年度は情報リテラシー・情報リテラシー演習・プログラミング基礎・データ構造とアルゴリズムⅠ・ソフトウェア演習・データ構造とアルゴリズムⅡ・データ構造とアルゴリズムⅢ・計算機システム・情報回路実験Ⅰ・情報回路実験Ⅱ・離散数学Ⅱ・グラフ理論を担当しています。

林 政喜 (はやし まさき) 助手

1984 年生まれ、福岡県直方市出身、2007 年九州産業大学情報科学部知能情報学科卒業。2008 年九州産業大学大学院情報科学研究科情報科学専攻博士前期課程



修了。2011 年九州産業大学大学院情報科学研究科博士後期課程単位取得退学。2011 年 4 月九州産業大学情報科学部助手として勤務。

研究テーマは交通事故防止についてです。日本での交通事故発生件数は年々減少していますが 2010 年で 73 万件も発生しています。交通事故の殆どは衝突によるものです。衝突事故を防止する為には停止距離よりも車間距離を長くする事が重要なのですが多くの人は短い車間距離で走行しています。それは本能的に先を急ぐ運転をしてしまい車間距離を詰めているからです。これは訓練・教育する事で矯正する事ができ、私はその訓練・教育システムの一部を作成しています。また、その他にも足の長さ、幅、体の重心などの測定が可能な足型計測の開発も行っています。

講義ではプログラミング、ハードウェア実験の補助やサポート室などを担当しています。得意な分野はプログラミング、論理回路です。分からないところがあればサポート室を開いていますので気軽に尋ねてください。